

学校だより 11月号



体験とともに成長する子どもたち

校長 柴田 雅之

急に冷え込み、秋はもう終わり？という気候に戸惑いを隠せません。それでも、秋らしい爽やかさも感じられます。子どもたちには充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

先日1・2年生がよみうりランドに遠足に行きました。行きはバスで、帰りは歩き。思いっきり遊んで、歩いて帰ってきたときには疲れきっている子が多かったです。この遠足においては、小田急バスさんが臨時便を出してくださいました。また、保護者の見守りボランティアにもたくさんの方にご参加いただきました。おかげで無事に楽しく過ごすことができました。学校として、感謝申し上げます。ありがとうございました。1年生、2年生ともに仲良く協力する姿がたくさんあったようです。とくに2年生は、先輩として1年生に気を遣いながら、優しく頼もしい姿が見られたようです。また、3年生の民家園見学では、電車の中をはじめ、歩き方や見学の仕方がとてもよかったですと聞きました。そのような報告を聞くと嬉しい気持ちでいっぱいになります。

8日の運動会に向けて練習が始まっています。本校は、1・2年生、3・4年生、5・6年生で演技・競技を行っています。上の学年は下の学年の見本になろうと一生懸命です。また、実行委員をはじめ、自分の係や役割に責任をもって取り組む姿も見られます。自ら進んでというものもあれば、分担してというものもありますが、与えられた役割に、まじめに真剣に取り組めることが千代っ子のよさです。素晴らしいことだと思います。運動会の後にたくさんの充実感・満足感を味わってほしいです。運動会当日は、温かい拍手とともに応援をよろしくお願いします。そして、その日の活躍はもちろん、それまでの頑張りも含めて、ご家庭でも大いに褒めて認めてあげてください。参観におきましては、別紙「令和7年度千代ヶ丘小学校運動会のお知らせ」でお伝えしておりますように「立ち見・スタンドの入れ替え」をはじめ、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、千代ヶ丘のゴルフ練習場の前に「山田土筆細山美術館」が2023年まであったのをご存知でしょうか。この細山（現千代ヶ丘）の地に生まれ育った日本画家の山田さんが自宅を改装して開いていました。98歳でお亡くなりになり閉館しましたが、この度、生誕100年を記念し、息子さんが期間限定で開館しています。私も先日伺いました。かつてのこの千代ヶ丘、細山、金程、向原の風景がとても素敵な絵で残されています。その絵の一つが校長室にも飾られています。その絵を見ながら、ふと考えます。かつてのこの地に思いをはせるとともに、時の流れを感じつつ、これからの未来について思いを巡らせます。失ってきたものと新しく築き上げてきたもの。そのどちらも受け止めて、未来を切り開いていく子どもたちを育てていければと思います。美術館は11月いっぱい土・日・祝日に開いています。

11月は、運動会の他、開校記念日や土曜学校公開とPTA主催千代フェスタ、演劇鑑賞教室、畑見学(3年)、地層・プラネタリウム見学(6年)、フロンターレ教室などいろいろとあります。インフルエンザの流行が心配ですが、気を付けながら安心・安全に充実した教育活動を行っていきます。

※あっ、そうなの！「麻生区長寿日本一」（麻生区地域みまもり支援センターより）

8年連続世界一幸せな国はどこか知っていますか？ この国の人々が大切にしている心構えを「シス」と呼びます。「シス」を意味する適切な日本語はないのですが“折れない心”・“あきらめずにやり抜く心”と言われています。皆さんも自分を大切に、「あきらめずにやり抜く心」を育ててください。（答）フィンランド）